

空港近辺以外に飛来
する鳥にかかる対策
《議題4関係》

○福岡空港周辺におけるハチク
マの渡りの視察に関する報告

福岡空港周辺におけるハチクマの渡りの 視察に関する報告

(経緯)

大型の鳥種であるハチクマが福岡空港周辺を飛来することについて情報提供を受け、第17回鳥衝突防止対策検討会で基礎調査結果について報告したところ、今後の取り組みの1つとして、ハチクマの秋の渡りの状況について検討会委員とともに現地に赴いて視察を行った。

(概要)

【日時】2019年9月27日 8:30～12:30

【場所】鴻巣山展望台、油山片江展望台(福岡市内)

【参加者】樋口委員、橘委員、WGメンバー9名、事務局2名



(1)分類

タカ目 タカ科 ハチクマ属 ハチクマ

(*Pernis ptilorhynchus*)

環境省RDBカテゴリ:準絶滅危惧種(NT)



①幼鳥(雄)



②成鳥(雌)



③成鳥(雄)



④成鳥(雄)



⑤成鳥(雌)

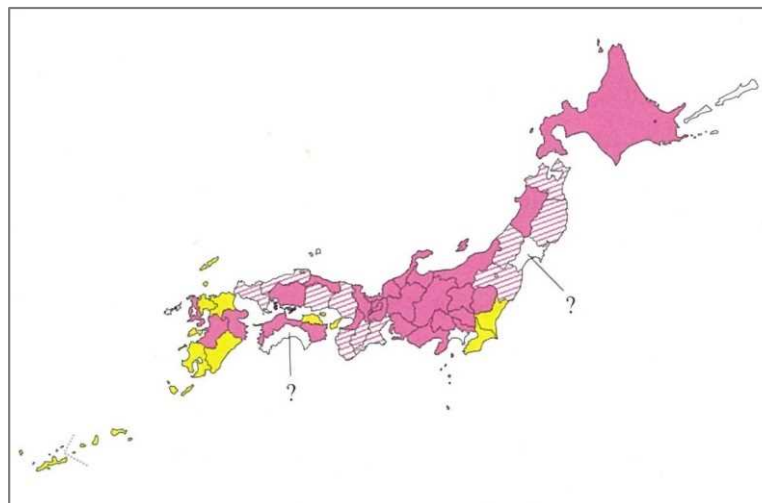
(写真提供)①大橋圭太氏 ②③④⑤石井鶴三氏

(2) 形態

- 全長: 55 ～ 61cm 翼開長: 121 ～ 135cm
- 体重: 750 ～ 1490g (カラスより大きく、トビよりやや小さい)
- 上面は褐色か黒褐色が一般的。羽色や模様には個体差が大きい。尾には2～3本の太い横帯がみられる。

(3) 分布と生態

- 極東からインド、東南アジアまで分布する。
- 日本では北海道から九州まで、夏鳥として5月上旬から渡来する。10月中旬頃まで生息し、主に東日本で繁殖する。
- 主な餌はクロスズメバチなどハチ類の幼虫や蛹で、昆虫類やカエル、ヘビ、トカゲなどもよくとる。



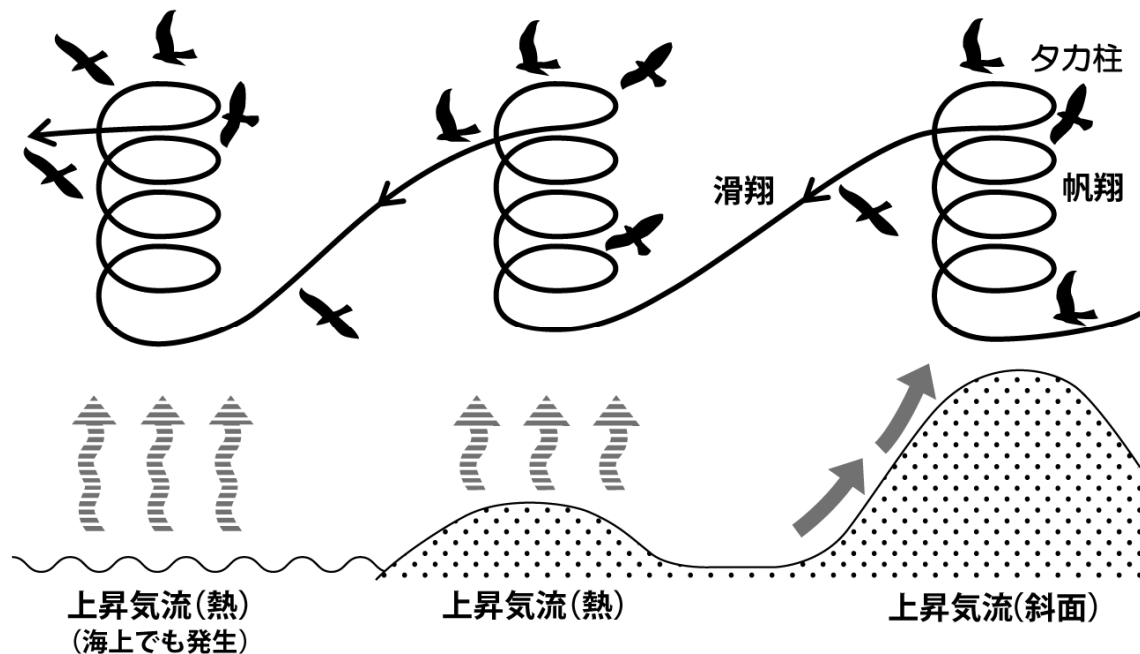
-  繁殖地域(夏期だけ生息)
-  繁殖未確認の地域
-  通過地域

(出典) 森岡ほか(1995) 図鑑日本のワシタカ類

(4) タカ柱

- 上昇気流が発生する地点に多くのタカ類が集まって旋回上昇する現象。
- 上昇気流の発生は地形と気象条件による。
- ハチクマは上昇気流を見つけ、旋回上昇と滑空を繰り返して、エネルギー効率良く長距離を移動する。秋は東方向からの追い風も利用して海を渡る。
- 秋の飛行高度は数百～1000mほど。春は2000～3000mと高い。

【タカ柱と渡りのイメージ図】



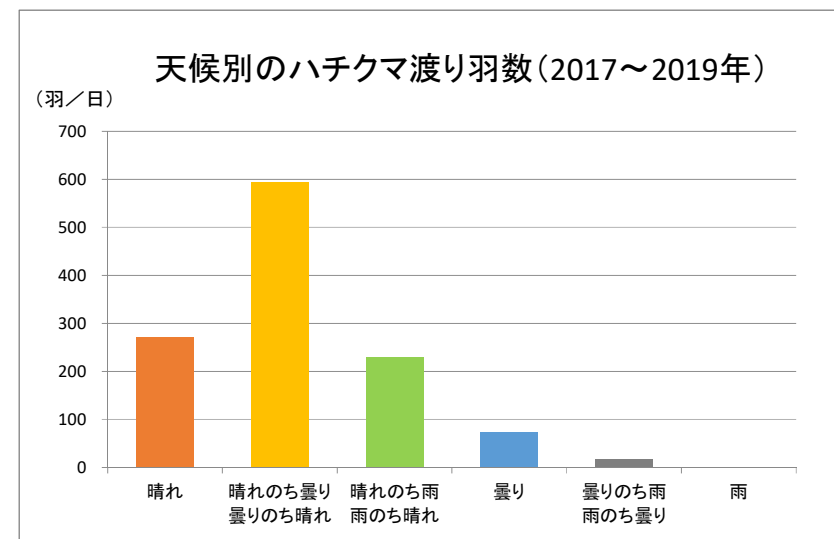
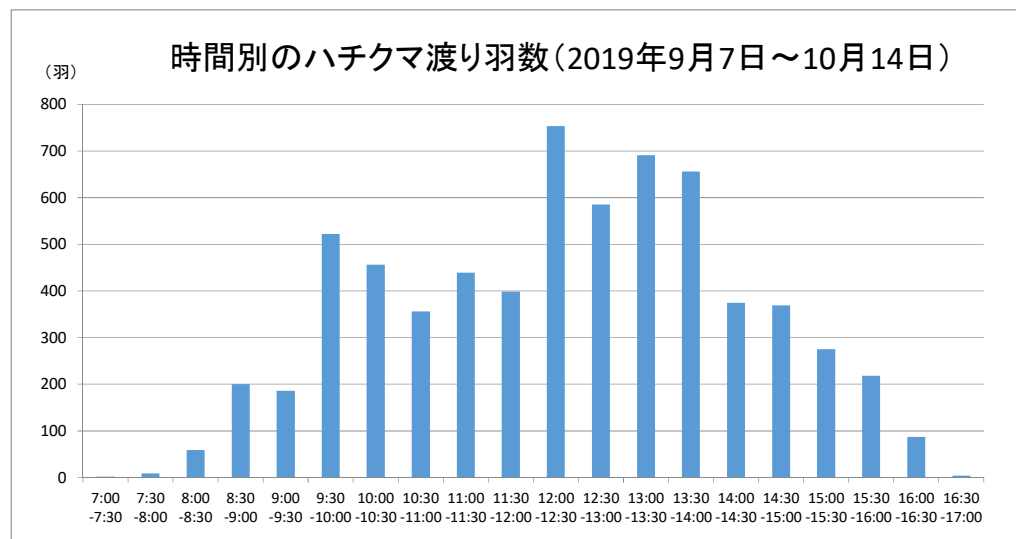
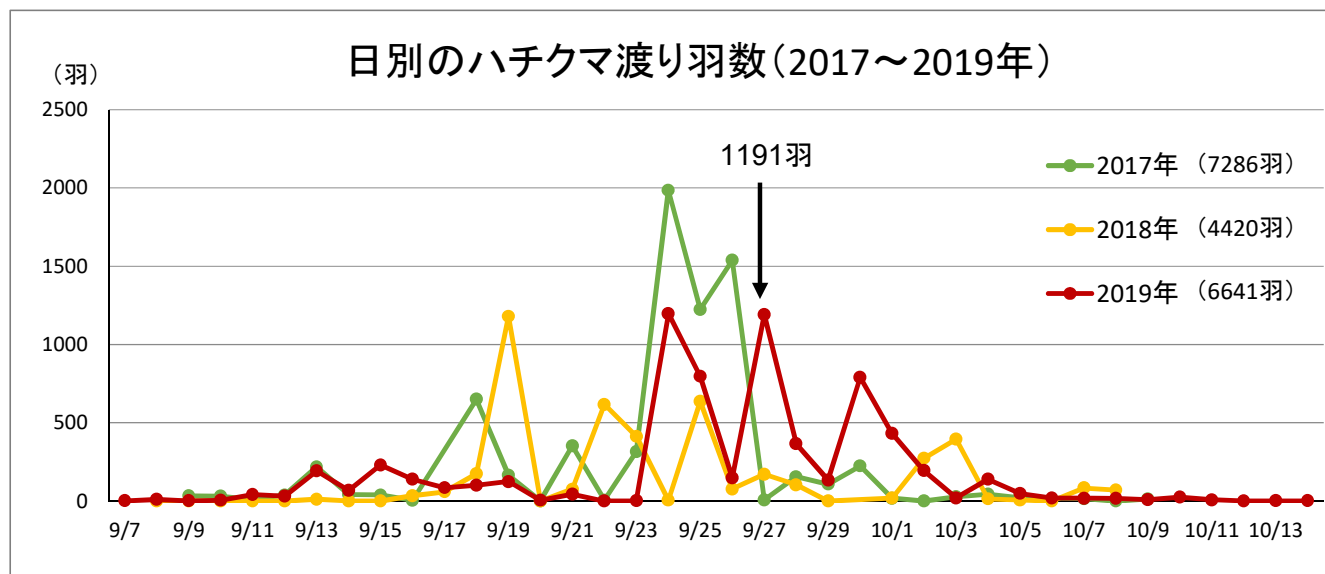
(参照) 森岡ほか(1995) 図鑑日本のワシタカ類



(油山片江展望台、2019/9/27)

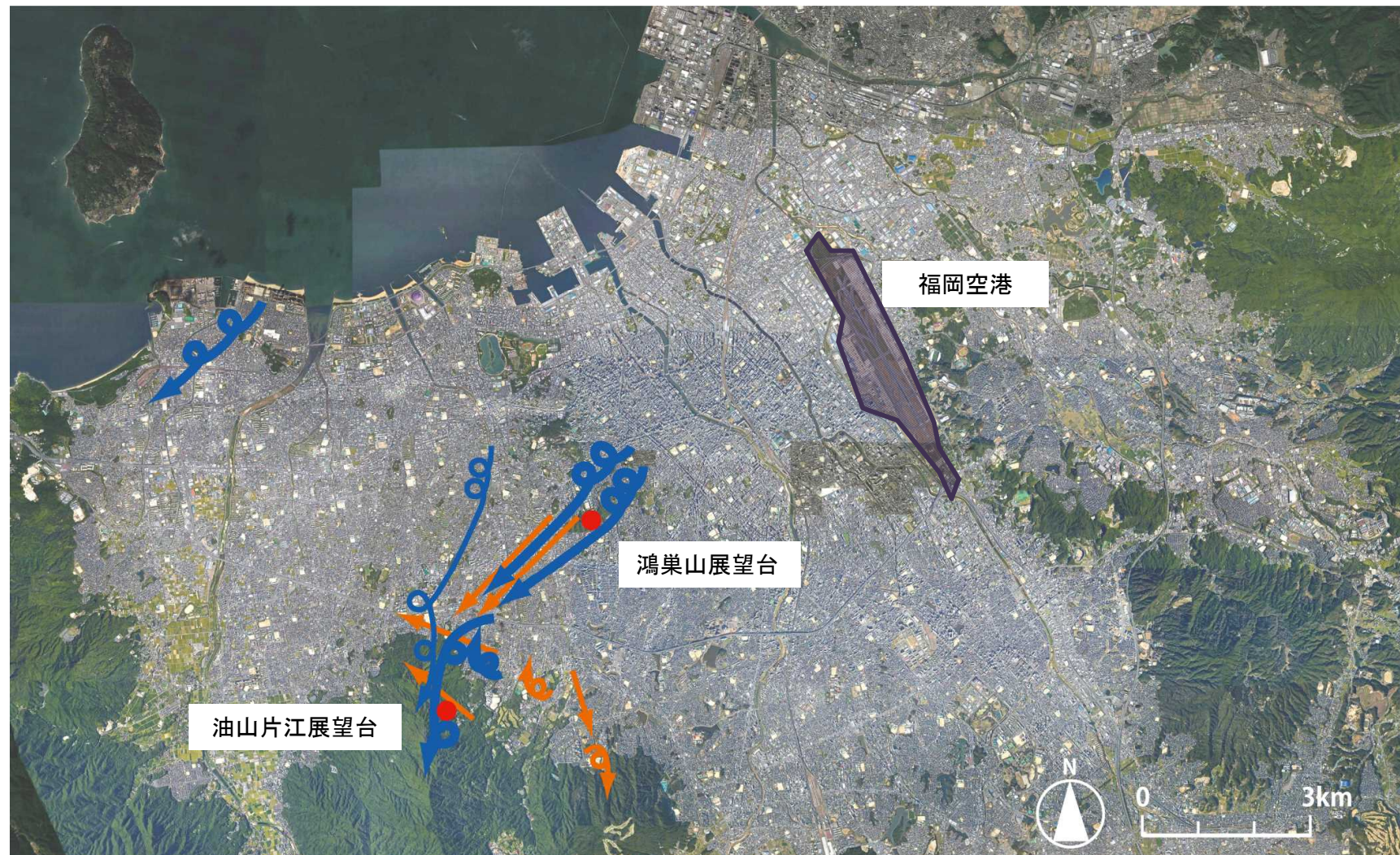
3. 福岡空港周辺のハチクマの渡り①

(1) 油山片江展望台で観察されたハチクマの渡り(秋)の記録 (2017～2019年)



3. 福岡空港周辺のハチクマの渡り②

(2) 本視察で観察されたハチクマの飛翔経路



9月27日   (鴻巣山展望台: 9:40-10:20、油山片江展望台: 11:00-11:40)

1～9羽 10～100羽

(参考) 9月26日   (鴻巣山展望台: 13:10-14:10、油山片江展望台: 15:15-16:15)

1～9羽 10～100羽

3. 福岡空港周辺のハチクマの渡り③

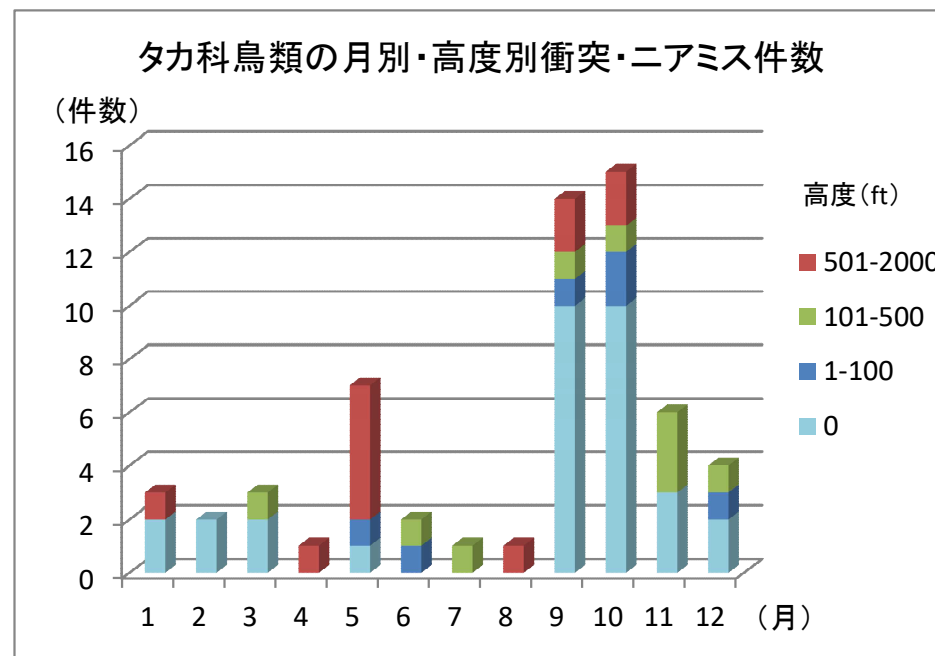
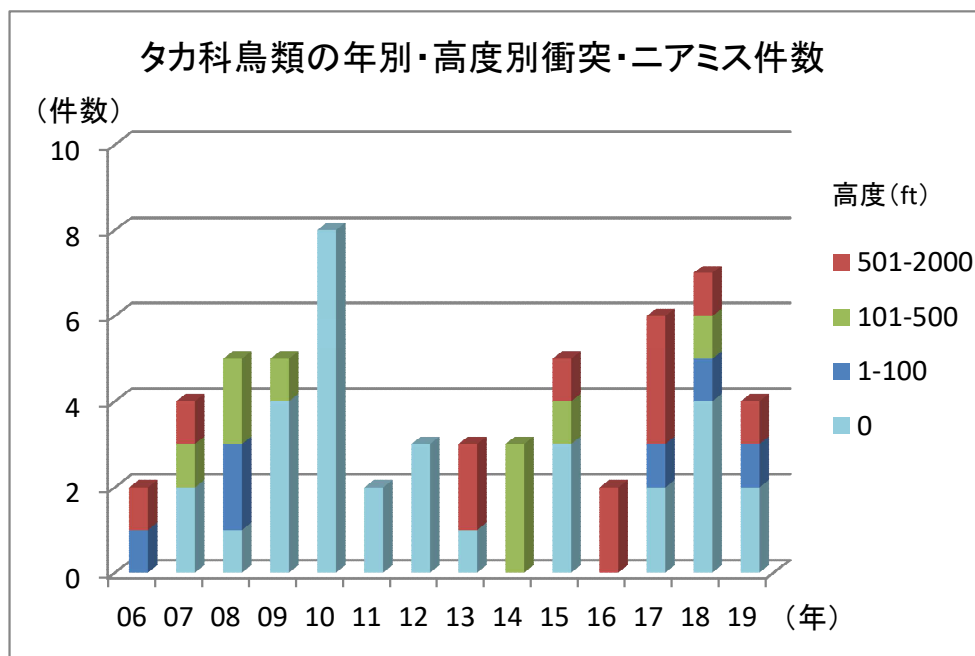
(3) 本視察で観察されたハチクマの飛翔の様子(映像)



4. ハチクマの衝突・ニアミス件数

福岡空港におけるタカ科鳥類の衝突・ニアミス・機体損傷の状況 (※1)

内容	件数	種類
タカ科との衝突件数	34件	トビ32件、ハチクマ1件、タカ1件
タカ科とのニアミス件数	27件	トビ27件
タカ科による機体損傷件数	2件 (※2)	トビ1件、ハチクマ1件



※1 鳥衝突情報共有サイトに登録された2006年から2018年のデータ、及び速報値として2019年1月から10月に登録されたデータを使用。

※2 機体損傷があった2件は航空局の鳥種特定調査によって同定されたものであり、それ以外は機長により報告された、もしくは空港管理者により特定されたもの。

【鳥衝突防止対策検討会委員の意見】

- 空港外の高々度を移動する渡り時のハチクマの防除は課題が大きい。
- 春と秋の渡り時に福岡空港内・周辺で衝突したタカ科について、鳥種を明らかにすること。
- データの集積が大事であり、継続的にハチクマの実態調査を行い、福岡空港に離着する航空機との衝突について評価する必要がある。

【今後の取り組み予定】

- ✓ 福岡市上空のハチクマの飛翔経路を詳細に把握するため、春・秋の渡りの時期において生態調査を実施する。
- ✓ ハチクマの春・秋の渡り時期において、福岡空港で発生した全ての衝突事案において鳥種特定調査を実施する。 ※ 明らかにハチクマでない認められる場合を除く
- ✓ ワーキンググループを通じて航空会社に情報共有を行うとともに、空港管理者、就航する航空会社、有害鳥類防除業務請負者などで構成される福岡空港の鳥衝突防止連絡協議会に対し、航空局の取り組みについて説明し、適宜情報共有を行う。